第183号
金田町報
発行所　金田町役場総務課
編集兼発行人　藤川義臣
印刷所　栗林印刷所
電話（09474）②0506番

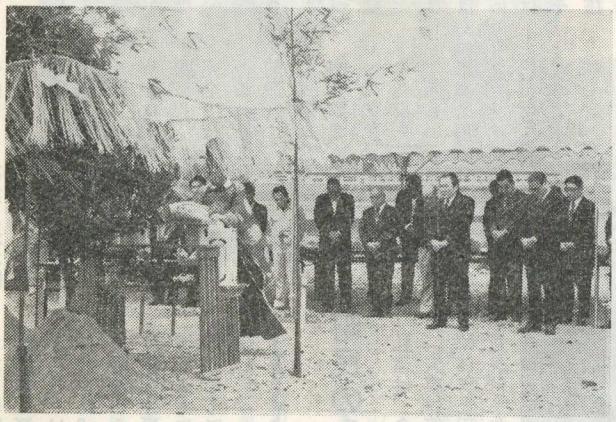
かなだ

金田町人の動き

（2月1日現在）

世帯数	2,638		
人口	9,542		
男	4,676	女	4,866
出生	11	死亡	7
転入	26	転出	36

町民会館完成予想図　（九月末完成予定）



町民会館地鎮祭風景

待望の町民会館建設着工なる!!

金田町中央公民館

かねてより町民皆様方が待ち望んでおられた町民会館が建設の運びとなりました。

去る二月十八日金田駅裏（黒尾）で起工式が行なわれました。

町民の皆様方には体育施設がなく、他町村の施設を利用する等大変御迷惑をおかけしましたが、このたび建設する町民会館は郡内でも屈指の施設であり、本年九月末には完成の予定であり、完成の暁には、スポーツ行事やスポーツ教室、その他体力づくり等を大いに進めて行きたいと思っています。

【工事の概況】

鉄筋コンクリート造二階建
総敷地面積　六、六九七平方米
総建築面積　二、二〇〇平方米
バレーコート　二面
バスケット　二面
バドミントン　六面
テニスコート　一面
ハンドボール　一面

その他、卓球台やトレーニング室等があります。

3月のこよみと行事

和名　弥生（やよい）
風も雨も日ましにあたたかく、草木が弥ましに生いしげる月という意。

1日	全国緑化運動
3日	桃の節句・耳の日
7日	消防記念日
8日	国際婦人デー
20日	春分の日
21日	乳児検診
22日	放送記念日
25日	電気記念日
26日	心配ごと相談

『失業対策制度事業の再確立に関する』合意書

―失業発生の原因―

1、産炭地田川は、国のエネルギー政策により地域ぐるみ大きな打撃を受けた。失業者は多発し、その後のオイルショック、経済不況のなかで地域社会ぐるみの貧困化はますます激化の一途をたどっている。

我々は『失業者はなぜ発生するのか』『失業救済の責任は誰が負うべきか』について究明した。少なくとも、地方自治体にその責任のすべてを負わすべきではないと考える。

―社会問題としての失業の位置づけ―

1、人は誰れでも『労働の権利と義務』をもっている。今日の社会進歩は、すべて労働によってもたらされた。

失業問題はただたんに経済的な視点からだけではなく社会問題として把握すべきである。

やむなく発生した失業問題に対しては、有期的な失業の手当制度だけでなく、事業制度等他の方法も追究されなければならない。

―現行制度事業のはたした役割―

1、現行の失業対策諸制度事業はあいつぐ炭坑の閉山にともなう社会的な混乱のなかで産業基盤の整備、環境整備等一定の役割を果してきた。

飢餓賃金だと言われながらも、人々は生命を保ち、最低生活にあえぎながらもそれなりの社会的な秩序は守られてきた。

―現行制度事業の問題点―

1、現行の失業対策諸制度事業が「滞留」「適正規模」「事業効果（種目の選定）」「最低生活保障」などの諸点で多くの弱点を持っていることも又事実である。

我々はこれらの問題点を克服すべく今日まで真剣に取組んできたし、それは必ず克服できると確信している。

―制度事業の再確立―

1、現在のしくみのなかでは、我々は失業問題をさけてとおることはできない。又現在の雇用失業情勢は失業対策制度事業の再確立を求めている。

失業者の体力、能力を保全培養し、社会的に役立てることは絶対必要である。

―新しい制度事業の望ましい姿―

1、新しい失業対策制度事業については次の諸点が考慮されなければならない。

(1)「滞留」など現行失業対策諸制度事業がもっている弱点の克服。

(2)新しい街づくり、国づくり政策との正しい結合。

(3)地域住民の生活を守りぬく立場から、地方自治体は、財政力に即応した適正枠については消化するけれども、それ以上の失業者の発生については、国の責任で対処すること。

―田川地域の特殊性―

1、産炭地田川では、国のエネルギー政策との関係で特別な事情が存在している。炭坑閉山の嵐は地域社会を荒廃させたばかりでなく、人々の心をも無惨にふみにじった。

失業と貧困の渦巻く中で傷あとの痛みにたえながら、それでも田川の住民は生きる希望をすてていないばかりか、より積極的に新しい街づくりに参加したいと熱望している。

新しい失業対策制度事業とは別に田川では石特会計による事業（地域開発中心）は、必らず確保されなければならない。

―むすび―

1、我々は、数回にわたり真剣に検討をかさねた結果、以上の諸点について完全に意見一致をみた。

これらの要求と運動を前進させるためには、全住民的な合意を得ることが大切である。

そのために我々はあらゆる努力をおしまない。

新しい「失業対策制度事業の再確立」について、その必要性を確信し事業の再確立」について左記のような点で合意しました。

私達は雇用失業問題の現状から見てこれは、私達や市町村長だけの問題でなく住民全体の「くらし」と福祉」にかかわる重要な問題であると考えます。

それは今日、全町民的事業として失業対策制度事業にまさる事業は他にないからであります。

金田町におきましても、五十三年度の四事業（一般失、緊就、開就、特開）の総事業費が三億四千七百万円」国庫補助二億三千万円」町負担一億一千七百万円町財政の十三・一%です。

また失対四事業の年間吸収人員は、三三、二五一人で、一ケ月、二十三万就労したとして、一日一三九人が就労しています。町内企業で一三九人も従業員をかかえているところはありません。

もし失対四事業がつぶされることになったら就労者はもちろん、業者も商店も町民も「道路、団地造成、下水道等仕事がなくなる」と困ることになります。

私達はいくつかの欠陥や不充分さを卒直に認め、克服に努力しています。

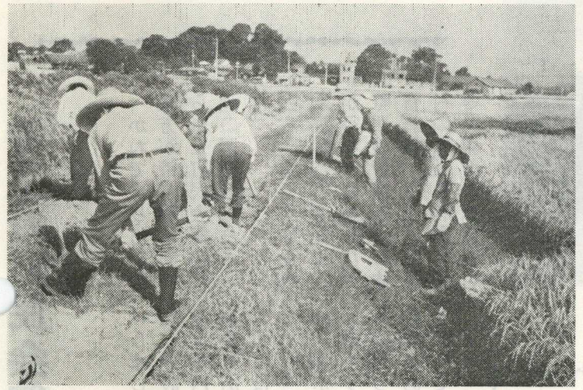
町民のみなさんには意見や要求をどしどし出していただき、町民に役立ちものにしたいと思っています。

ただちに関係方面に対し具体的な運動をおこすことを我々はお互いに確認し合った。あらゆる困難をのりこえて失業対策制度事業の再確立にむかって、ともに全力をそそぎこむことについて合意に達した。

〃〃〃〃〃 町民のみなさん 〃〃〃〃〃

私達は、全日労田川分会（失業対策制度事業就労者団体）と田川十ケ市町村の首長は「失業対策制度事業の再確立」について、皆さんの一層の御支援をお願い申し上げます。

全日自労　田川分会
金田自治体部長
香　月　数　吉



国鉄では　3月17日から　4月5日まで『鉄道妨害をなくす運動』実施

最近踏切事故が増えております。

楽しいドライブを続けるため、踏切では次のことを守ってください。

◆踏切では必らず停って、左右の安全を確かめましょう。

◆警報機の鳴っているときは、踏切には絶対にはいらないようにしましょう

◆踏切内で動けなくなったら、まず列車を停める手配をしましょう。

良い子は守る
踏切は見るくせ
聞くくせ止まるせく

金田地区公民館対抗バドミントン大会開催さる

中央公民館

去る一月二十七日、当町小学校体育館において金田町地区公民館対抗バドミントン大会が開催され、九チームが参加しました。

参加チームは一区、三区二チーム、四区、五区、六区、神崎一、二、神崎四、若草以上です。

成績は次の通り

優勝　一区
準優勝　四区
三位　三区二チーム共

体力づくりは剣道から

金田小学校体育館において、毎週月・火・金曜日の週三日間、小学生から一般まで二十名が寒い毎日、午後六時から午後九時まで剣道の練習に励んでいます。

剣道は、格斗技術として日本に生まれ、長い歴史とともに発展し、国民に親まれています。剣道と正式に呼ばれるようになったのは明治末期で、それまでは剣術、撃剣等と呼ばれていました。

さらに「道」のことばを使い意味をもつようになったのは教育の場に教育の手段として、剣道が行なわれるようになってからです。

私達指導員のねらいは、体力の育成、正しい姿勢の育成、責任感と自由的精神の育成、礼儀を重んじ、相手を尊重する態度の育成等をねらいとし、練習生と一緒になって修行に励んでいます。

なお、この剣友会へ入会したい方は、次のとおり募集しますので、希望される方は申込み下さい。

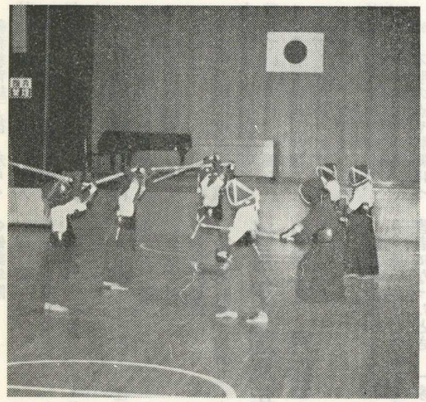
◆入会期間
第一期　3月1日から　3月31日まで
第二期　9月1日から　9月30日まで

◆練習日時
月・火・金曜日

◆練習場所
金田小学校体育館

◆会費　一ケ月二千円

◆連絡先
金田町本町　古部　敏
②0202番
金田町役場　池長　和美
②0555番



〃町部の鉱害復旧事業に着手〃

町部鉱害復旧事業の実現は永年にわたる関係者の血と汗の結晶によるものであります。また、町民各位の御協力の賜ものと深く感謝申し上げております。第一次で復旧事業に伴う迂回路として金田大橋（下部工）新設工事が現在すでに行なわれております。第二次で町部下水道（新町四丁目一四二米）が着工されております。この事業は、下水道関連事業として家屋が嵩上げされる関係から下水道が先行し一年おくれて家屋が復旧されます。つまり下水道工事が完了した区間を家屋がおっかけるという状態で進行されます。工法は、カルバートボックス（内経巾80㎝深さ90㎝の〇製合）を道路の中央に埋め込んで行く方法であり、下流になるほど内経が大きくなります。最終的には昭和60年度で復旧が完了する見込みであります。この間、町民各位には大変御迷惑をおかけすることと存じますが、町部鉱害復旧促進のため絶大なる御協力をお願い申し上げます。

尚、工事のため二月二十日～四月三十一日まで通行止めになります。

金田町老人会　俳句・短歌同好会

【俳句】

原田　豊茂
車椅子寄り添うように日向ぼこ

岩野　克芳
畦焼の火の走り来て鶏騒ぐ

岡本勝次郎
拡大鏡のぞく夜寒の新聞紙

桑野つる絵
飛梅に被写体の人

山さかり
岡本　清子
万葉の文字のやはらか書初す

斉藤ナミ子
背戸に咲く水仙に来し蜂弱し

前　チエ子
古里のローカル線に長閑に居

清水　政恵
一人寝の枕濡れ居り春遠し

瓜生　女礼
雪の谷なにか有るらし寒雀

宇野かな女
鉢の木爪枝につぼみをあふれしむ

辰島　宗一
湯の旅を春雪ついてもどりけり

三月詠草

公民館短歌教室

請師　友清　隆雄
今日一日悉なく過せし幸福いつの間にかまどろみしなを　赤く沈みゆく入陽に謝らむ夢の中に　患者は活々しぬと蘇生し居り

藤本　唯彦
すずめらの啼き合ふ朝や窓こゆなり年賀の便を積みし際の　柳木立に降る春の雨　友らの室

小野トメ子
永かりしわがすぎゆきを想放郷の祭ばやしを録音し　ひつつ　草毟りして新年を待つ

阿部　重宏
木枯の吹きぬく庭のかたすみに　梅がふくらみふきのとう出る

福田　昌
菊池　一枝
雪の日の受験場は底冷えてろびぬ
足の先より寒気つきあぐ

福原　照子
二年ぶりに帰りし姉はかひがひしく　ゴム手袋のしずくたえまなく

並川　君子
くれなずむ山の灯のひとつひとつ　氷のごとくきらめきて見ゆ

藤林　俊信
あざやかな色に食慾そそられる　僅かに渋き生熟柿の味

中村　繁生
四十路なる友は商売たたみしより　職探すとぞ言葉少なし

高木美代子
息子より生れ来る子の命名をたのまれし夫の顔ほこる

お知らせ

国民健康保険者証の切替えについて

住民課保健係

現在使用しています被保険者証は昭和55年3月31日で有効期限がきれ4月1日から使用できなくなります。従って次により切替えをいたしますので、国保加入世帯の方は印鑑と現在使用している被保険者証を持参して下さい。

切替え日　昭和55年3月27日より

場所　金田町役場　住民課保健係

❶世帯内に異動（転入、転出、死亡、社保加入、社保離脱）があり、いまだに届出をされてない世帯にあってはその理由のはっきりわかるもの（例えば社保加入の時は会社の保険証等）を添えて保健係まで届出下さい。

❷昭和55年4月1日現在、被保険者証に記載されている人員が昭和55年度の保険税の課税対象人員となります。

❸現在健康保険証のない方は必らず国民健康保険に加入しなければなりません。

県立高校定時制（夜間）生徒の二次募集

働きながら学ぶ人のため福岡県立高等学校定時制（夜間）が地元田川地区に田川東高校、西田川高校の二校あります。両校は、地域住民の人権を守り、ゆきとどいた高校教育を実現するため、皆さんに広く門戸を開いています。

学校では基礎からわかるように懇切に指導し、また勤労青少年福祉法により職場から通学の便が図られるようになっています。

義務教育終了後、永らく社会の実務についていた人や家庭の主婦の方など中壮年令者の方も多く学んでいます。

卒業後は高等学校普通科卒業の資格が与えられ、大学への進学の道も開かれています。

卒業生の中には国家、地方公務員、大手企業等に就職している方や、教養を高め、自営に精進し発展している方も沢山居ります。

両校では、つぎにより生徒募集をしていますので、どしどし応募して下さい。

尚、不明の点や詳細については末項の問い合せ先に遠慮なく、ご連絡下さい。

【入学案内】

◇入学試験日
田川東高校
三月三十日（日）
西田川高校
三月二十九日（土）

◇受験場所
福岡県立田川東校高
福岡県立西田川高校

◇提出書類
学校へ問い合せ下さい。

◇出願期間
田川東高校＝三月二十一日より三月二十九日まで
西田川高校＝三月二十一日より三月二十八日まで

◇授業時間
午後五時二十五分より午後八時二十分まで（月曜～土曜）

◇修業年限
四年間

◇校納金（毎月）
授業料千三百五十円・旅行積立金千九百円
その他　合計四千円程度

◇教科書
無償交付

◇修学奨励金
希望者に六千円貸与（卒業すれば返さなくてよい）

※問い合せ先
福岡県立田川東高等学校
田川市番田町
電話（田川）④三〇一五番
福岡県立西田川高等学校
田川市上本町
電話（田川）④〇六六四番

4月から国民年金の保険料額が変ります　月額三、七七〇円に改定

国民年金係

国民年金は年をとったとき、思いがけない事故で障害者になったとき、一家の仕き手を失ったときなど、社会全体のしくみの中でお互いに助け合ってその生活を保障しようというものです。

こうした将来の生活を守る国民年金は、皆さんの納められた保険料と、国庫負担（2対1の割合）それに積立金の運用利子を財源にして必要な年金給付費を賄うというシステムになっています。

なぜあがる保険料

国民年金の年金額は毎年のように改善され、昨年も七月から三・七%の物価スライドの実施によって、例えば十年年金で二九六、九〇〇円、二十五年納付の人で四七〇、七〇〇円、四十年納付では七五三、二〇〇円と年金額の引上げが行われました。

まだ、今年も一層の充実を図るために、来年（五六年）に予定されていた財政再計算を一年早めて今年実施し、年金額も引上げられることになっています。

このように年金額の充実が図られる一方、日本人の平均寿命の伸びとともに年金受給者は増え、その年金受給期間は長くなるということから年金給付費は急増をつづけています。

こうしたことから、四月より保険料が三、七七〇円に引き上げられるわけですが、あなたの老後を守る国民年金の健全な発展のために、こうした相応の保険料負担についてご理解とご協力をお願いします。

公民館短歌教室合同歌集『ともしび』発刊さる

中央公民館

筑豊の文芸運動としては特異な活動を続けている金田町公民館短歌教室の皆さんが、開設二周年を記念してこのたび、合同歌集『ともしび』第一集を発刊致しました。

出詠歌数六九〇首を収め地方の歌集としては、質量ともに素晴しい出来ばえです。町民の皆さんの御一読をお奨め致します。

頒布価格は一冊四〇〇円です。購読希望の方は、金田町中央公民館内『ともしび』編集委員会に御申込み下さい。

暮らしと省エネルギー〃石油を大切にする生活〃

石油等のエネルギー資源は、人類共通の財産で私達の生活は、これに大きく支えられています。しかし、地球上の資源は有限です。

特に最近の国際石油情勢は不安定となっており、これに対処するため、私達も身近にできる省エネルギー、省資源でエネルギーを合理的に利用しましょう。

その実例として

冷蔵庫…ドアの開閉は少なめに、開放時間は短く、早く。

テレビ…見ない時はスイッチを切って、音量は控えめに。

洗濯機…洗濯はまとめて、決られた容量で。

照明…照明はこまめに消灯を、螢光灯は白熱灯の1/3の電力消費ですむ。

風呂…水は冬は沸かす直前に入れ、夏はくみ置きを。

他にも、色々と身のまわりで気がつくことがあると思いますが、小さな努力で大きな省エネルギーでのスローガンの下で生活の安定を図りましょう。

ありがとうございました

金田町社会福祉協議会へ
吉田　直文　殿
和田タケ子　殿
堀田　重行　殿
久保　俊雄　殿
植高　淳　殿

金田町教育後援会へ
村上ミツエ　殿
和田タケ子　殿

金田町老人クラブ連合会へ
久保　俊雄　殿
村上ミツエ　殿

右の方より香典返しとしてご寄付をいただきましたので、有意義に使用させていただきます。